



河川敷コスモスこれから



大野川河川敷に咲いたコスモス＝22日、大分市志村、撮影・山戸孝哉

きょう「霜降」

23日は二十四節気の「霜降」。秋が深まり、霜が降り始める時季とされる。大分地方気象台によると、22日は低気圧や湿った空気により県内全域で雨となったが、南から流れ込んだ暖かい空気の影響で、最低気温が9月上旬～中旬並みとなった。

大分市志村の大野川河川敷にある「大在コスモスふれあい広場」では、しとしと降る雨の中、赤や桃色のコスモスがきれいに咲いていた。ウォーキングをしていた同市鶴崎の主婦中浦美保さん(62)は「暑い期間が長かった分、朝晩の冷え込みを急に感じるようになった。

た。コスモスも例年より開花が遅かったが、無事咲いて良かった」と笑顔で話した。市大在支所によると、現在は四～五分咲き。ピークは11月初めごろになるそう。

23日の県内は朝まで雨や雷雨の所があるが、高気圧に覆われ昼過ぎから晴れる予想。

(山戸孝哉)



〔問①〕 10月23日は二十四節気の「霜降そうこう」ですが、どんな意味ですか。

〔問②〕 大分市志村の大野川河川敷にある「大在コスモスふれあい広場」のコスモスは23日現在4～5分咲きですが、ピークはいつ頃でしょう。

〔問③〕 秋の花といえば？ 調べてみよう。